

農作業特報

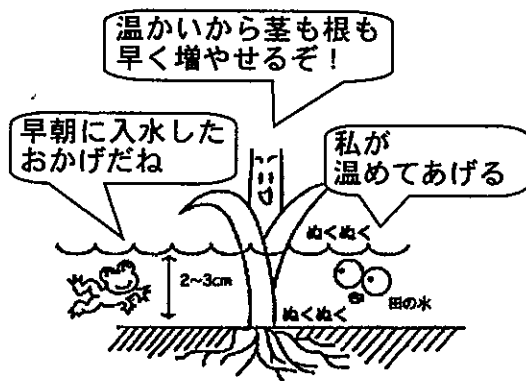
魚津市
魚津市農業技術者協議会

品質の良い米づくりには、初期生育の確保による『穂数型稲』と適切な中干しによる『根づくり』が重要となります。

生育期に応じた水管理の実践により、気象変動に強い稲を目指しましょう。

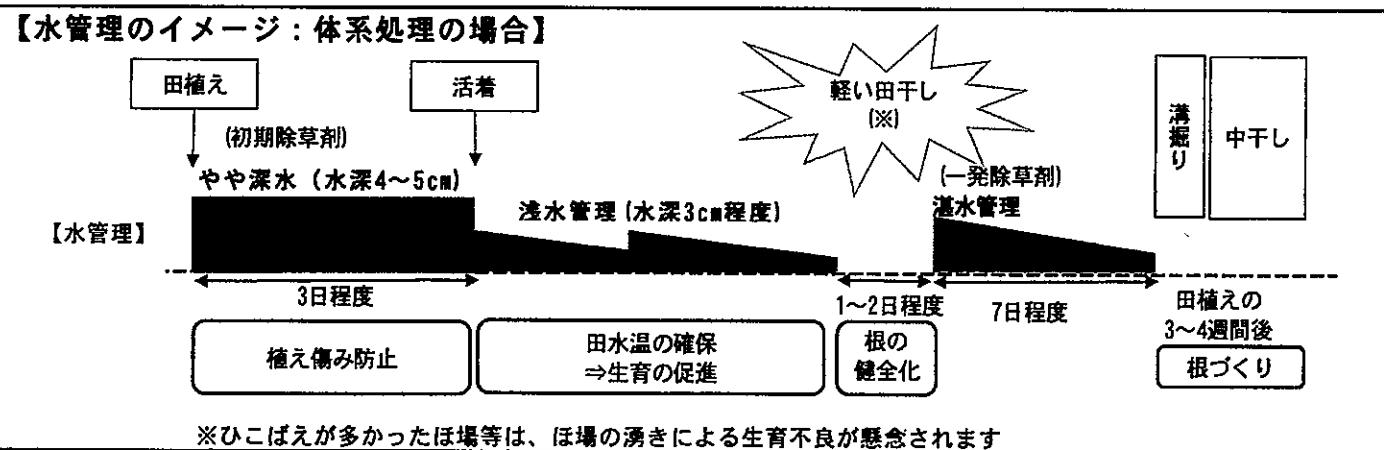
1. 水管理

- 活着後は、浅水管理（水深3cm程度）を徹底しましょう。
- 入水は、朝または夕方に行い、日中は止め水にして水温を高め、分けつ（新しい茎）の発生を促しましょう。
- 田がわいたり、藻が発生した場合は、水の入れ替えや軽い田干しを行い、根に酸素を与えましょう。



<初期生育の良い稲>

- 軽い田干しは、風の穏やかな暖かい日に行いましょう。
 - ・ 一発除草剤を散布済みの場合 → 軽い田干しは散布後7日以降に
 - ・ 中期除草剤を散布予定の場合 → 軽い田干しは散布前に
- × チラ干しは、苗が傷んだり、雑草が発生しやすいため、厳禁です。
- × 深水では、水温が上がりにくく、分けつの発生が少なめで軟弱徒長ぎみになります。



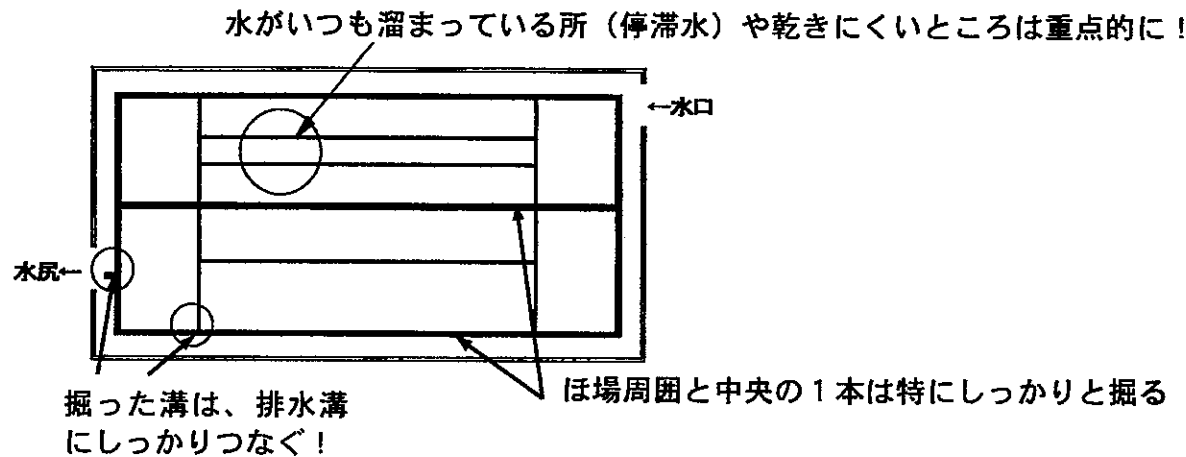
今年は、大麦の生育が早回っています。計画的に作業しましょう

農業用水路への転落事故に気を付けて!!

2. 溝掘り

ほ場全体の入水・排水を考慮して設置しましょう

- 中干しの効果を高めるため、6月初旬までに溝掘りを行いましょう。
- 溝掘り前に軽い田干しを行い、土を落ち着かせた後に設置しましょう。
 - （設置の目安は『額縁』+『5m程度の間隔に1本』）
 - “水の溜まっているところ”や“乾きにくいところ”は重点的に。
- 掘った溝は、確実に水尻（排水口）と連結しましょう。



3. 中期除草剤の使用のポイント

薬剤名	処理時期	使用量	使用上の注意点
★アクシズMX 1キロ粒剤	田植後 20日～ ノビエ4葉期まで (収穫45日前まで)	1kg/10a	・田植7日後から使用できますが、 <u>葉害を回避するため、田植え20日後から使用してください。</u> ・30℃以上の高温が予想される場合は使用しない。
★テッケン ジャンボ	田植後 15日～ ノビエ4葉期まで (収穫60日前まで)	500g(10パック) /10a	・水深6cm以上の深水状態にして、ほ場にパックを均等に投げ入れる。 ・藻が多発しているほ場では使用しない。 ・30℃以上の高温が予想される場合は使用しない。

★「やまだわら」には、上記の中期除草剤は使用しないでください(葉害が発生する可能性有り)。中期除草剤を「やまだわら」に散布する場合は、地区担当の営農指導員に相談してください。

- 散布前に、軽い田干しや水の入れ替えを行いましょう。
- 『大雨』や『30℃以上の高温』が予想される場合は、除草剤を散布しないでください。
- 散布時は田面が見えない程度の深水とし、散布後7日間は「止め水」を保ち、落水やかけ流しはやめましょう。

除草効果を高めるため、適期散布を行うとともに、湛水状態を保ちましょう

農薬の散布時は、隣接ほ場や住宅地周辺などへの飛散防止に努めましょう。
富山県農薬「危害防止運動展開中 4/1～9/30